

# 情報連絡員報告総括表（平成27年7月分）

三重県中小企業団体中央会  
 連絡員総数 40名  
 回答数 40名（100%）

業界の景気動向（前年同月比）

		売上高			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員 <small>（臨時・パートを含む）</small>			業界景況		
		増 加	不 変	減 少	増 加	不 変	減 少	上 昇	不 変	悪 化	好 転	不 変	悪 化	好 転	不 変	悪 化	好 転	不 変	悪 化	上 昇	不 変	悪 化	増 加	不 変	減 少	好 転	不 変	悪 化
製 造 業	食料品		4			4		1	3			4		2	2		2	2		4				3	1		2	2
	繊維工業	1	1	1		3		1	2			3		3			2	1		1	1	1	1	2			2	1
	木材・木製品			1		1			1			1			1		1				1			1				1
	紙・紙加工品		1	1		2			2			2		1	1		2				2			1	1		1	1
	印刷		1			1			1			1		1			1				1			1			1	
	化学・ゴム																											
	窯業・土石製品	3				2	1		3			3		3			3			2	1			3		1	2	
	鉄鋼・金属			1			1		1			1			1		1					1		1				1
	一般機器		2	1	2	1			3			2	1	1	1	1	1	2		1	2		1	2			1	2
	電気機器			1		1				1			1			1			1			1		1				1
輸送機器			1		1			1			1				1					1		1					1	
その他																												
小計		4	9	7	2	16	2	2	17	1		17	3	1	11	8	1	14	5	4	10	6	2	16	2	1	9	10
非 製 造 業	卸売業		2			1	1	1	1			2			2		2							2			1	1
	小売業	2	1	3		5	1	4	1	1		3	3		3	3		3	3					5	1	1	2	3
	商店街		1		1				1			1			1			1					1				1	
	サービス業	1	2	2				1	4			5			4	1		4	1					5		1	4	
	建設業	1	2	1					4		1	3		1	3		1	3						4		1	3	
	運輸業			1					1			1			1			1						1			1	
	その他		1						1			1			1			1						1			1	
小計		4	9	7	1	6	2	6	13	1	1	16	3	1	15	4	1	15	4				1	18	1	3	13	4
合計		8	18	14	3	22	4	8	30	2	1	33	6	2	26	12	2	29	9	4	10	6	3	34	3	4	22	14

## 最近の主要指標の前年同月比D I の推移

(平成26年7月～平成27年7月)

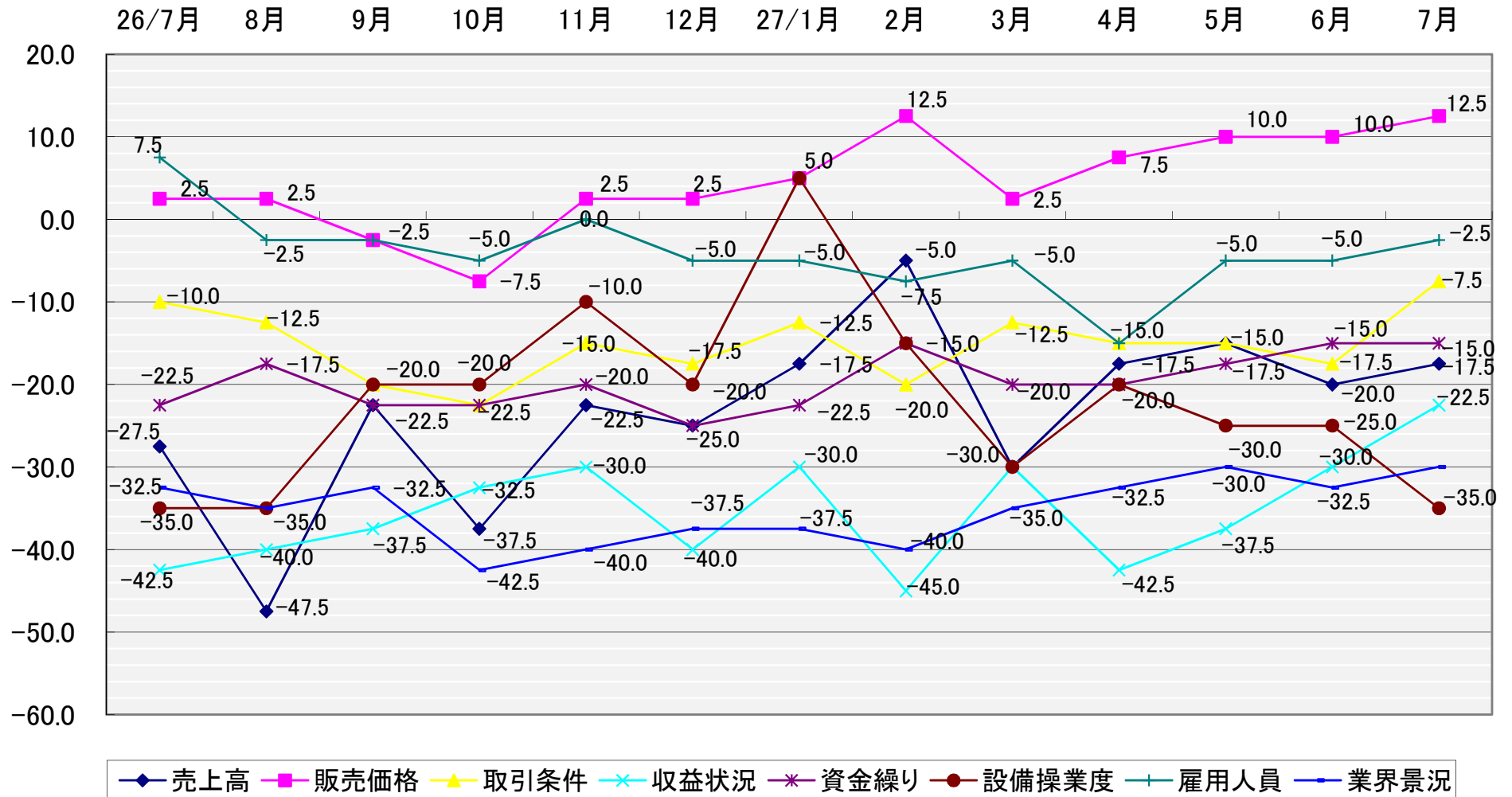
三重県中小企業団体中央会

連絡員総数 40名

	26/7月	8月	9月	10月	11月	12月	27/1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	増減
売上高	-27.5	-47.5	-22.5	-37.5	-22.5	-25.0	-17.5	-5.0	-30.0	-17.5	-15.0	-20.0	-15.0	5.0
販売価格	2.5	2.5	-2.5	-7.5	2.5	2.5	5.0	12.5	2.5	7.5	10.0	10.0	15.0	5.0
取引条件	-10.0	-12.5	-20.0	-22.5	-15.0	-17.5	-12.5	-20.0	-12.5	-15.0	-15.0	-17.5	-12.5	5.0
収益状況	-42.5	-40.0	-37.5	-32.5	-30.0	-40.0	-30.0	-45.0	-30.0	-42.5	-37.5	-30.0	-25.0	5.0
資金繰り	-22.5	-17.5	-22.5	-22.5	-20.0	-25.0	-22.5	-15.0	-20.0	-20.0	-17.5	-15.0	-17.5	-2.5
設備操業度	-35.0	-35.0	-20.0	-20.0	-10.0	-20.0	5.0	-15.0	-30.0	-20.0	-25.0	-25.0	-10.0	15.0
雇用人員	7.5	-2.5	-2.5	-5.0	0.0	-5.0	-5.0	-7.5	-5.0	-15.0	-5.0	-5.0	0.0	5.0
業界景況	-32.5	-35.0	-32.5	-42.5	-40.0	-37.5	-37.5	-40.0	-35.0	-32.5	-30.0	-32.5	-25.0	7.5

(注1) 「D I」はデフレーション・インデックスの略で「増加」・「好転」したとする企業割合から、「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

### 最近の主要指標の前年同月比DIの推移



情報連絡一覧票 (三重県中小企業団体中央会・平成27年7月分)

	集計上の分類業種	具体的な業種	組合及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
製造業	食料品	醤油味噌	前回4月に行った「三重しょうゆ街道」（展示試食即売会）を次回は10月23日から25日にイオン東員店にて開催する。他にPR活動として「しょうゆの知り博士の出前授業」を日本醤油協会主催で申込みのあった県内小学校にて行っている。
		豆腐	県内の豆腐製造業者は毎年のように減少しつつあるが、その分県外からの商品がスーパー等の量販店に並び、県内の業者は潤っていないのが現状である。
		麺	麺類全般では原材料費が上昇しているため、卸価格が上昇し、商品価格への転嫁がかなり厳しい。商品の種類を絞り込んで取り組んでいかなければならない。
	紙・紙加工品	紙器段ボール箱	アイスクリームや飲料系の冷凍食品用の段ボールが少し多めに動いた。また歳暮用商品の企画も例年並みに出てきた。
		古紙	7月期の仕入量は、前年対比で段ボール：約94±7%、新聞・チラシ：約91±5%、雑誌・雑紙・その他合わせて：約93±6%の中での推移である。台風や猛暑によるためか理由はよくわからない。伊勢市周辺の観光ブームや愛知県の財界のような好況感はない。少子高齢化、人口減少による経営環境の変化は製紙産業に大きな影響があり、私たちの組合員の業務量に大きな変化を及ぼしている。ただし、夏物の需要はあり、飲料や冷凍食品の段ボールは好調のようで、例年以上の箱量が流通しているとのことである。集荷形態や取引先により段ボール古紙の集荷に格段の格差があるように思う。新聞古紙や雑誌古紙は非発生時期で激減している。縮小均衡の経営は非常に難しいと不安が募る。
	印刷	印刷	今年度も三重県より県民手帳の製作販売業務が当組合に決定した。昨年よりひと月早い10月初旬の発行に向けて製作チーム（組合青年部）は連日コンテンツの協議や資料の依頼・調査・作成を行っている。
	窯業・土石製品	伊賀焼	7月は昨年度に比べて入館数はやや増加しているが、売上としては少し減少した。7月の末に開催された伊賀焼陶器まつりの影響も要因の一つと考えられる。今後も陶器の売上増加を期待したい。
	鉄鋼・金属	鍍金	当業界の生産量は6月同様で未だに低迷した状態が続いている。特に自動車関連部品が著しく減少しているのと、他の電気機器、ガス関連品、建設関連と軒並み減少傾向にある。半導体関連は6月同様に顕著に推移している。この状況は後1・2カ月は続き、その後はまだ見通しはたっていないが、若干減少に転じるのではないと思われる。
	一般機器	北勢	中小企業にとって直近の経済環境が恵まれた状況であるとは思われない。安売法問題、TPP関連等々。日本国の将来は世界全体を見たとき、我が国の立ち位置が難しい。個々の組合並びに企業の「自助努力」に期待するばかりである。
		南勢	中国経済の景気減速が懸念される状況となりつつある。国内製造業だけではなく、サービス業等の消費動向にも影響が出かねない。
電気機器	南勢	夏枯れに近く、全体の動きが悪い。相変わらず価格競争が激しく利益になかなかつながらない。	
輸送機器	北勢	鈴鹿市内の大手自動車メーカーでは7月も生産調整があるなど、仕事量は落ちたままであるが、他の地域の自動車メーカーは繁忙であり、明暗がはっきりとしている。	
非製造業	小売業	青果	野菜の前半は梅雨の影響で薄薄で、特に玉ねぎ・馬鈴薯・人参が高値であった。レタス・キャベツも入荷が不安定でオクラ・ゴーヤ・モロヘイヤも少なかったが、トマトは入荷が多く、味もよかった。後半は北海道・東北で雨が少なく、関東以西は高温で地域によって天候が異なる為、野菜全体に入荷が少なく、高値が続くそうである。果物の西瓜は前半は愛知県産・石川県産中心で、後半は山形・長野と産地が入れ替わり、天候に恵まれ味もよく、価格は高めであった。ハウスみかんは中元など、贈答用に人気で味もよい。
		自転車	商品全体の仕入価格・販売価格の上昇により、どの店も売上減少が続いている。そんな中、静岡にて開催された中部自転車ブロック会に事務局とともに参加した。日商連推奨自転車及びタイヤチューブ等の共同購買事業、安全対策事業はどの県も同じように進められているようである。しかし自転車防犯登録普及事業において登録抹消に関する提案があり、全国統一できないかとの話し合いが行われた。しかしその問題は26年8月1日所管省庁の回答は出ており、各都道府県ごとの整備にてその手続きは完了できるとのこと。しかし様々な登録業務の問題を抱えているのが現状である。

非製造業	小売業	家電	長梅雨の影響を受け、7月中旬まで商品全般の動きが鈍く、大苦戦を予測していたが、7月20日に梅雨明けして猛暑が続く中、エアコンを中心に連日の配達・設置に追われている。しかしながら7月度全体の業績については前年ダウンで推移しているとみられる。主だった商品は冷蔵庫の大容量タイプや洗濯機の高機能タイプは好調であるが、台数ベースでは前年を大幅ダウンの状況であり、リフォームや太陽光発電についても厳しい状況である。引き続き猛暑が続いており、お盆を控えエアコンや白物商品の買換え需要が拡大すると予測している。
		石油	7月度の全国ガソリン出荷数量は前年対比102%前後の状況との報告があったが、三重県の燃料販売については2~3%減販であり、販売価格の競争のため先月同様に収益は改善しない状況である。7月後半の異常な暑さと、夏休みの影響もあり、幾分後半において販売数量等が改善されてきたが、今後8月に向けての夏商戦において燃料販売及び油外商品の販売強化にて収益改善を図りたい。
		スポーツ用品	夏の甲子園大会の予選が県下の各球場で始まった。組合員各店はそれぞれ出入りの学校があるので、試合に向けて準備の手伝いをしている。もし出入りしている学校が甲子園出場になると、見合わせなどなく、購入してもらえるので、大変喜ばしいことである。今年は組合員が携わっている学校が勝って欲しいと思う。
	商店街	熊野	商店街の空き店舗を活用したチャレンジショップ事業の募集を7月中旬より行い、数件の応募があった。選考の結果、手作り雑貨を取り扱う若手事業者が選定された。また同商店街にはこれとは別に食堂等の2件の新規オープンがあり、徐々にではあるが、空き店舗の減少がみられる。今後は市との連携により若手事業者の育成や改装補助等、新規出店に結び付ける事業を加速させることも必要かと感じる。
	サービス業	旅館	式年遷宮以来減少傾向が続いている入込客数が旅行券の発売、伊勢志摩サミットの決定等、明るい材料が出たことにより、下げ止まった感があり、夏休み前にも関わらず出足は好調であったが、中旬より続けてきた速度の遅い台風11号、12号襲来により誇大とも思える台風情報のため、キャンセルが相次いだ。嵐は来ないがキャンセルの嵐の被害大であった。
		飲食業	先般、政府は2016年主要国首脳会議を三重県で来年5月26日・27日の2日間で開催することを発表した。開催地を決めるにあたっては、国際社会が直面する様々な課題や、「地方創生」の観点を踏まえたこととされている。県内飲食業界においても、活性化を期待する一方で、飲食店営業事業者は衛生面における安心・安全はもちろんのこと、来県し、外食を利用する外国人等へのインバウンド対策が本格化され、日本の真の「おもてなしの心」で対応し、2020年東京五輪開催に向けての段階的なものと捉えていかなければと思う。
		警備業	7月度も梅雨の長雨、台風等で仕事量が減少した。
	建設業	内装工事業	7月も売上の増加が続き、前年同月比も増加となった。少しではあるが、この流れが継続していると思われる。
		水道工事業(北勢)	7月は特段大きな変化もなく、推移した。ただ外注工事に関しては価格上昇の傾向が続いている。

### 行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	製麺	伊勢志摩サミットに向けて今後、情報提供して欲しい。伊勢うどんのPRに取り組んでいきたい。
一般機器	北勢	中小企業対策を中央会にも特に中央政府に期待したい。96兆円もの国家予算の割に中小企業への補助が少なすぎる。
小売業	家電	7月30日にマイナンバーのセミナーを受講し、全体の流れは理解できた。10月にスタートするが、新たな事項なので、導入後のフォローも必要である。
	スポーツ用品	学校には事務所があるが、なかなか自分たちの立場が理解できていないようである。学校事務はその学校の教師たちがスムーズに教鞭が取れるよう、また生徒たちが有意義に学校生活を送れるよう面倒を見るところである。他の県の事務所と中身が違うはずであるが、はき違えている事務所がほとんどで、猛省を促したいところである。
サービス業	旅館	サミット関連の宿泊について、現在情報が混乱していて宿泊業者からも様々な相談を受けているが、とりあえず県に予約センターができるまで待つよう回答している。9月初旬に開設予定と聞いているが、できるだけ早くお願いするとともに、業者の事情等にも配慮願いたい。